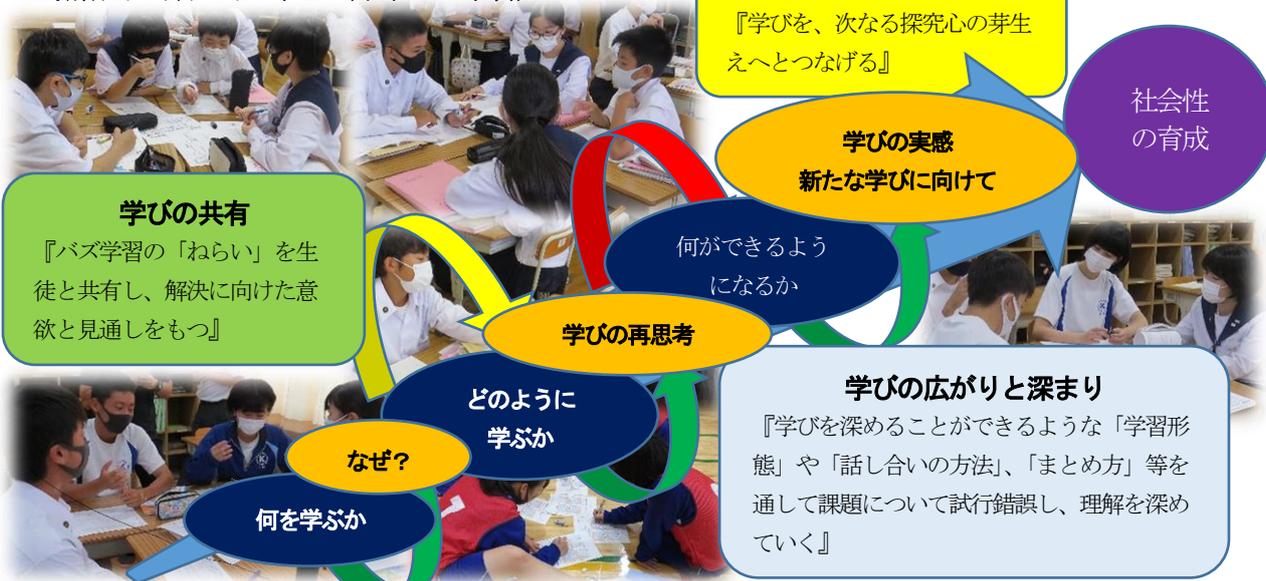


1 研究主題

社会性を育む協働的・探究的な学習を実現する指導体制、方法の研究
 ～ バズ学習、小中連携を活かした指導体制の工夫を通して ～

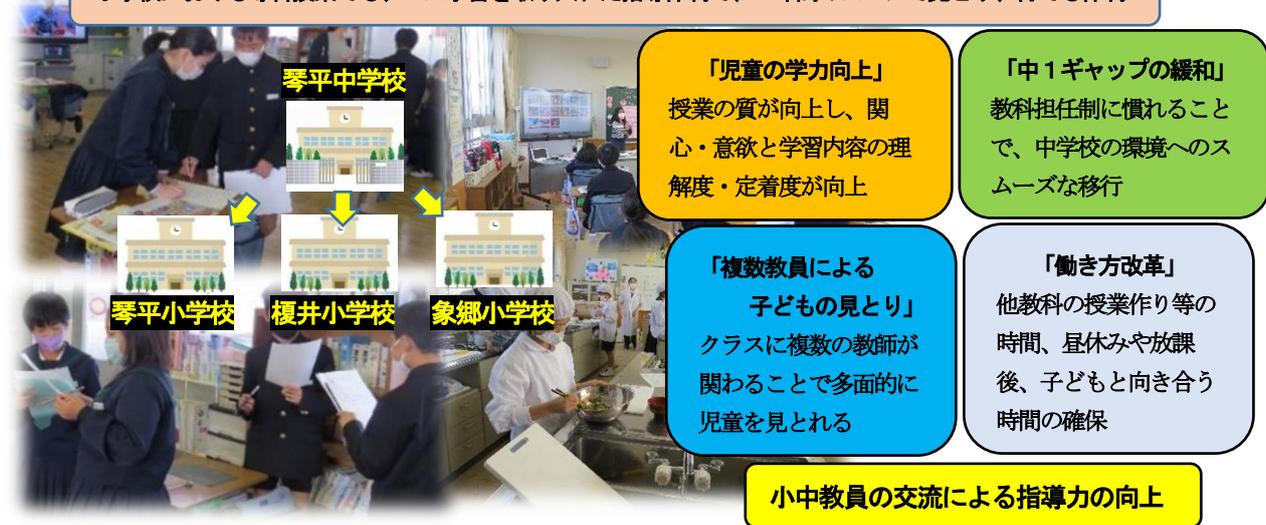
2 研究の具体

○協働的・探究的な学び (琴中バズ学習)



○小中連携 ※小学校高学年での中学校教員による専科授業 (毎週英語科2時間、家庭科2時間)

小学校における専科授業でも、バズ学習を取り入れた指導体制で、9年間のスパンで見とり、育てる体制



3 研究の検証及び改善の手立て

- ・ 今年度は、「琴中バズ学習」について全教員が共通理解し、年間を通して共通実践することを目標とした。そして、PDCAサイクルにより実践する中で出てきた課題を検討し、「協働的・探究的な学び」について深く考え、授業改善に向けて個々の教員が意識できるようになった。また、10の指標のアンケート結果も、9つの項目で11月の結果は数値の伸びが見られた。
- ・ 中学校教員による小学校での専科授業に対する11月に行った児童、小学校教員へのアンケートは満足度が非常に高い結果だった。児童からは「分かりやすい」「発音が前より上手くなった」「中学校での授業のことを教えてくれて良かった」、教員からは「中学校への不安解消とスムーズな移行という点、専門的な教科内容の習得という点から非常に有り難い」という意見があった。

【来年度に向けて】

- ・ バズ学習での「バズ課題の設定」や学びの深まりにつながるような「学習形態」、「話し合いの方法」、「まとめ方」、「教師のコーディネート力」について更に研究を進める。
- ・ 専科授業では中学校へのつながりを意識した授業展開を研究し、子どもの学力向上を図る。